

穂学

令和2年度
広州日本人学校 学校便り
[No. 7]
令和2年6月12日(金)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「親と教師にとってすごく大切なこと」

学校が再開して約1カ月が過ぎました。日常を取り戻しつつある中で、今一度子どもへの関わりについて考えたいと思いました。アメリカの教師ロン・クラークさんが書いた見出しの本から、子どもに関わる大人や教師に共通する大切なことをまとめていますので紹介します。

熱意	①熱意はまわりに伝染する ②目標がある時、熱意は最高の力を発揮する ③子どもの熱意を引き出す環境をつくろう ④熱意は必ず子どもに届く
冒険	①大人も冒険の感覚を思い出そう ②共に冒険すれば強い絆ができる ③冒険は期待を育み、進歩を促す ④授業にも冒険の刺激を
創意	①創意は人を活気づける ②テストの成績を創意工夫してあげる ③創意はチャンスを逃さない ④創意は敬意に通じる
反省	①反省をもとに成功の思い出をつくろう ②向上するには反省が不可欠 ③反省を記録すれば宝物になる ④1年の反省を形に残そう
バランス	①さまざまな学習スタイルでバランスをとる ②規律と愛情で正しいバランスを見つける ③生活と教えることのバランスをとる
思いやり	①思いやりとは人の立場に立てること ②思いやりは理解に通じる ③忍耐で思いやりを示す ④教室での思いやりは、苦しんでいる子どもを力づけること
自信	①経験は自信につながる ②自信は準備から生まれる ③自信は成功につながる ④子どもにチャンスを与え、自信をつけさせる
ユーモア	①子どもたちのユーモアを理解する ②その場にふさわしいユーモア ③ユーモアでやる気を出す ④ストレスをユーモアで解消する
常識	①整理するという常識を教える ②新任の先生を支える常識 ③テストでいい結果を出す常識 ④常識が時間を節約する
感謝	①感謝を示すことの大切さ ②熱意のある教師への感謝
回復力	①燃え尽きないために回復力をつけよう ②まわりの無理解をはね返す回復力 ③回復力の源は子どもたち



いかがでしょうか。家庭でも学校でも同じ「子育て」として大切にしたいものです。子どもとの会話のきっかけにもなればと願います。